Creative Enzymes®

ラット由来のミトゲン活性化プロテインキナーゼ、組換え型

Cat. No. NATE-0443

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	ミトゲン活性化プロテインキナーゼ（MAPK）は、アミノ酸セリン、スレオニン、チロシンに特異的なプロテインキナーゼです。MAPKはCMGC（CDK/MAPK/GSK3/CLK）キナーゼ群に属します。MAPKは、ミトゲン、浸透□ストレス、熱ショック、炎症促進サイトカインなど、さまざまな刺激に□する細胞□答を指示する役割を担っています。彼らは、□殖、遺伝子発現、分化、細胞分裂、細胞生存、アポトーシスなどの細胞機能を調節します。
別名	ERK2; 細胞外シグナル調節キナーゼ; ラット由来のMAPキナーゼ; MAPK; □殖因子活性化タンパク質キナーゼ

製品情報

種	ラット
由来	E. coli
形態	緩衝された水性グリセロール溶液
分子量	mol wt 42 kDa
純度	> 95% (SDS-PAGE)
活性	> 500 U/mg
緩衝液	20 mM Tris、pH 7.5、150 mM NaCl、1 mM EGTA、10% グリセロール、1 mM DTT、および0.03% Brij の溶液。
代謝□路	ARMS媒介の活性化、特定の生物系; 活性化されたTLR4シグナル伝達、特定の生物系; 急性骨□性白血病、特定の生物系; 急性骨□性白血病、保存された生物系; 接着結合、特定の生物系; 接着結合、保存された生物系; アルドステロン調節ナトリウム再吸収、特定の生物系
機能	ATP結合; ATP結合; MAPキナーゼ活性; MAPキナーゼ活性; MAPキナーゼ活性; MAPキナーゼ活性; RNAポリメラーゼIIカルボキシ末端ドメインキナーゼ活性; RNAポリメラーゼIIカルボキシ末端ドメインキナーゼ活性; キナーゼ活性; キナーゼ活性; ミトゲン活性化プロテインキナーゼキナーゼキナーゼ結合; ヌクレオチド結合; ホスファターゼ結合; ホスファターゼ結合; ホスホチロシン結合; ホスホチロシン結合; タンパク質結合; タンパク質キナーゼ活性; タンパク質セリン/スレオニンキナーゼ活性; タンパク質セリン/スレオニンキナーゼ活性; タンパク質セリン/スレオニンキナーゼ活性; タンパク質セリン/スレオニンキナーゼ活性; 転写因子結合
単位定義	1単位の活性化されたMAPキナーゼは、30°CでATPからミエリン基本タンパク質に1nmoleのリン酸を1分あたり転送します。

使用法とパッケージング

包装	100 ngのバイアル

保管・発送情報

安定性	−70°C